

消防管理事業

1. 消防職員用被服貸与事業について

消防職員の被服の貸与や、消防施設で使用する光熱水費及び運用消防車両の燃料費の管理等、高度な消防活動を全市民が平等に享受できるように、国の基準にそった消防体制を構築（服装・車両の運用）するとともに、職場環境の形成及び消防職員の安全管理等、消防業務における安全衛生管理体制の充実強化に努めた。また、災害現場活動時における消防職員の安全な活動をサポートするため、消防職員被服貸与品の購入を実施するとともに、平成２８年度新規採用職員に係る防火帽、防火服、防火靴※等の貸与品の購入を実施した。

※ 防火帽 … 衝撃性及び耐久性に優れた災害現場活動用ヘルメット
 防火服 … ISO（国際標準化機構）に適合し、耐火性及び耐熱性に優れた災害現場活動用防火服
 防火靴 … 耐久性及び耐熱性を強化した災害現場活動用防火靴

消防被服貸与品内訳

業務名	購入品目	購入費（円）
新規採用消防職員用被服購入 （平成２８年４月採用１名分）	防火衣一式（防火帽、防火服、防火靴）	173,880
	消防被服一式（制服、活動服、救助服等）	331,504

2. 平成２７年度消防職員の資質向上事業に伴う研修等実績

災害要因も環境の変化とともに大きく様変わりし、消防業務も一層の高度化、専門化が要求されるようになり、消防の責務はますます重大になっている。特に救急分野においては、救急救命士法が施行されて以降、全国的にも救急救命士による高度救命業務が定着し、救急に対する市民の期待が増大しており、さらに気管挿管、薬剤投与等の救急救命士の処置範囲※が拡大したことにより、本市においても、救急救命士の処置範囲拡大に伴う認定取得や技能維持を図る研修等を積極的に実施し、高度化する救急業務に対応している。

※ 気管挿管 … 空気の通り道である気管に、特殊な器具（喉頭鏡）を用いて口からチューブを挿入することで、より確実な気道の確保を図るもの。心肺停止の傷病者で、気道に問題がある場合が適応となる。
 薬剤投与 … 心臓機能が停止した傷病者に対して、心拍の再開を目的に指定された薬剤（エピネフリン）を点滴ルートから投与すること。心電図の所見などから適応が判断される。

消防職員教養状況

職 員 教 養	学校派遣教養	消防大学校	総合教育幹部科	1名
		大阪府立消防学校 大阪市消防局 高度専門教育訓練センター	初任教育、警防科、救急科 幹部科、救助科、特別教育 救急救命士養成課程等	18名
	委託教養	救急救命九州研修所	指導救命士養成研修	1名
		近畿大学医学部附属病院 救命救急センター 富田林病院	救急救命士就業前研修 救急救命士就業中再教育研修 救急救命士気管挿管病院実習	21名
		寺元記念病院 大阪南医療センター	救急救命士技能維持研修	36名
		大阪市消防局	各種実務型受託研修	6名
	資格取得	各種資格取得及び技能維持講習等		24名